1989年5月8日第三種郵便認可　　2022年4月15日　月刊不屈付録

甲府北部支部結成！

長い間、結成に向けた準備を進めてきて、待ちに待った甲府北部支部が、三月二十七日(日)、国際交流センターで結成総会が行われ、県下で四番目の支部として誕生しました。

県同盟の浅川副会長が、県内四つ目の支部結成の意義、支部が基礎単位の活動への期待、活動の場ができたことにより九〇歳を過ぎた自分でも皆さんの跡について活動に参加できるようになった、と決意が語られました。結成準備会を代表して、結成に至った経過が石原靖子さんから報告され、議事にはいりました。

支部規約、役員の提案や四月の年次総会、毎月の役員会、毎月一人の会員拡大、「不屈」の手配り配布、個人五〇〇筆、団体二〇筆の署名の取り組み、二ヶ月に一回の学習会、会費の一〇〇パーセント納入、お楽しみ会等々課題は具体的に討論され、出席者全員(十三人)が発言しました。総括・方針や同盟入会の動機などの自己紹介、後継者等仲間増やしや通信費等会計に関する意見や、支部結成を契機に、継続審議になっている甲府市議会への請願運動を前進させたい、治安維持法の学習にも力を入れたい等活発な意見が出されました。討論後一括拍手で採択されました。この後、特別決議「ロシアのウクライナへの侵略に抗議し、攻撃の即時中止を求める」が伴賢二さんの朗読で提起され、拍手で承認されました。

支部長に加藤敬二さん、財政担当に田中克子さん、機関紙担当に石原靖子さん、組織担当に田中鉄夫さん、署名担当に清水甲一さん、学習担当に渡辺正彦さんが選ばれました。

加藤支部長は「戦争の時代にこれ以上戻らないようにともに頑張りたい」と決意を表明しました。

県内で多くの活動家が在籍するこの地域での支部の誕生は県同盟にとって心強い大きな一歩と期待されます。

河東準備支部も準備中

昭和町、竜王、敷島、中央市など旧中巨摩東部でも、活動家が集まり支部作りの準備を進めています。河東支部ができると盆地の大半が組織化され、大きな力付けとなります。支部建設に励みましょう。

訃報

富士吉田市　上吉田二―三―九
前田憲俊様には
二〇二二年四月七日にご逝去されました。(七二歳)
謹んでお悔やみもうしあげます

不屈

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山梨県本部
〒400-0026
山梨県甲府市塩部4―13―1
清水宅

山梨県版
編集発行人
田中鉄夫
TEL 055―253―9710
Fax　同上

私たちの運動の基本方針
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
一、治安維持法体制の復活に反対する。
二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

1989年5月8日第三種郵便認可　　2022年4月15日　月刊不屈付録

第二回「千代子」実行委員会　報告

三月二六日、「千代子」第二回上映実行委員会は、国際交流センターで開催され、一七人が参加しました。矢崎実行委員長は、「憲法9条を変えて敵基地攻撃を可能にする時代、戦前が近づいている今、『単なる娯楽映画ではない』戦前の歴史を学び、語ってどういう日本をつくっていくか伊藤千代子がそのきっかけを作ってくれると思い、大変だが名誉な気持ちで実行委員長をうけた。しっかりと次世代につないでいくという気持ちでとりくみ、呼びかけ人に依拠して成功させたい」と決意を語りました。

県立文学館での5月28日(土)上映を大きく成功させ、各地域でも実行委員会をつくり、参議院選後の取り組みとして大きなうねりを作ることが大切になります。チケット5枚を各人に送り、次回実行委員会で集約します。

第三回「千代子」実行委員会

●四月二三日(土)午前十時～十二時

場所・国際交流センター

国会請願まで一ヵ月　黄色の署名に全力を！

今年の国会請願日は五月一一日に決定し、あと一ヵ月をきりました。昨年の同時期に比べても六〇〇筆、目標に対しては一八〇〇筆も足りません。

残された期間はあと一ヵ月ですが、会員の皆さんのもう一息の頑張りをお願いします。

お手元の署名は四月二五日までに担当の清水(里)まで届くよう手配をお願いします。

2022年5月28日(土)　昼の部 13:30開場・14:00上映　夜の部 17:50開場・18:20上映

山梨県立文学館講堂　山梨県甲府市貢川1-5-35　制作・上映運動協力券1枚1,000円

主催／映画「わが青春つきるとも」山梨上映実行委員会

お問い合わせは 矢崎090-7230-2133 田中055-253-9710 清水090-1808-7622